

## CS こひつじ科礼拝式次第

2022年6月5日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「神はわたしの避けどころ、わたしの砦。苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。」

詩編 46編2節

25、しゅイエスのみちを（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ ヨハネによる福音書20章19～23節

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」そう言う前から、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

おはなし

「聖霊を受けなさい」

加藤良明先生

イエスさまが十字架で殺されてしまってから数日後の夕方、お弟子さん達は家のドアにカギをかけて怯えていました。それはどうしてかというと、イエスさまをとらえて殺してしまったひとたちがやってきて自分達もひどい目にあわされてしまうかもしれないと思っていたからです。

お弟子さん達はこれから先、どうしようかとあれこれ考えていたその時のことです。突然、部屋の真ん中にひとが現れて、「あなたがたに平和がありますように」と言ったのです。そのひとは死んでしまったはずのイエスさまでした。お弟子さん達はとてもおどろいたことでしょう。ドアにはしっかりとカギをかけているのだし、誰かが入って来る足音や物音もしなかったからです。そしてイエスさまは生き返ったことをお弟子さん達に見せて知らせるかのように、十字架で受けたキズがある腕とお腹を見せたのです。そのキズを見た彼らはとてもよろこび、ホッとしました。前に、イエスさまがお弟子さん達に約束していたとおりに戻ってきてくださったからです。そのイエスさまは「あなたがたに平和がありますように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす」とお弟子さん達に言いました。さらに、彼らにイエスさまの聖霊（せいれい）である息を吹きかけ、「聖霊を受けなさい。だれの罪（つみ）でも。あなたがたが赦（ゆる）せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦されなければ、赦されないまま残る」と続けたのです。

この出来事が一番初めての聖霊降臨（せいれいこうりん）、イエスさまとお弟子さん達だけで行われた、聖霊が共にある礼拝。この時、ここから教会が始まりました。そこからいろいろな国に向かったお弟子さん達は聖霊の力と知らせによってイエスさまの教えを言葉にして広めていきます。そこから続く聖霊の

言葉の働きは私たちの住む日本にも伝わり、岩永先生と熊田先生、そして杉山先生という言葉へと受け継がれています。

言葉。聖霊といっしょにある言葉は私たちの目には見えないけれど、すばらしい力があるものです。それはイエスさまの聖霊の働きで私たちを神さまのところにあつめてくれるのです。聖書はイエスさまの聖霊を文字にした言葉です。イエスさまを想って読んだり、牧師先生や教会学校の先生のお話を聴くことは聖霊の力を神さまからいただくということです。そして、神さまから愛されていることを感謝して地上の生活をおくる私たちが集まっているのが教会。今はウィルスのために中々みんなが集まることは出来ていませんが、みなさんのイエスさまを想う心によって教会は聖霊といっしょにあり続けています。

\* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

93、わたしはちいさいひ (こどもさんびかをお用ください)